

輝くライフスタイルを応援する

Healthy Life

No.142 Spring.2021



Healthy Salon

「脳内リゾート」で
コロナ禍を生き抜く

磯田道史さん

Healthy Kitchen

全国郷土料理めぐり
かつおのてこね寿司
【志摩地方（三重県）】

Healthy Column

昼寝（パワーナップ）こそ、
脱・睡眠難民への近道

ヘルチェック information
安全・安心と快適さを追求した
9つの健診センター



総合健診センターヘルチェック

様に文句を言うことはできない。

ただし、政治思想的には、殿様に求められている徳目があるのです。当時は「百姓成り立ち」といつて、「民衆を救済し、持続可能な生活を実現することが、人の上に立つ者の仕事だ」という考えがありました。いわゆるSDGsにも通じる考え方ですが、江戸時代にはすでにあったわけです。

人の上に立つ者が求められた徳目は、ほかにもありました。えこひいきや私利私欲による行動は慎むべきであるとされ、無私であることが要求されたわけです。

今回のコロナ禍では、政権中枢にいる人たちが、「自分に近い業界」の業者をひいきしているのではないか」と批判されています。それを見ていると、江戸民衆の政治思想は今も日本で生き続けている、と感じますね。

——コロナ禍で自肃生活が長引くなが、健康に対する関心も一層高まりつつある。歴史学者として精力的に研究に取り組むかたわら、

田流パワー・チャージの極意とは。まずはストレスをためないことです。そのためには、「こうでなければならない」と思い込むのはやめた方がいい。眞面目で誠実な人ほどストレスがたまりますから、「こうあるべき」と物事を決めつけない方がいいと思います。

それから「忘れる力」を磨くこと、「気分転換の方法」を知っていることも大事です。僕は歴史学者を生業にしていますが、歴史を調べることを「仕事」だと思ったことはありません。虫捕りをするよう古文書を探し、遺跡や史跡をブラブラ歩き回っているので、苦にならないのです。

もう一つ挙げるとすれば、「義務の中にも面白さを見つける」ということですね。例えば、今は自肃生活でなかなか外食もできませ

んが、京都の魚屋を歩き回ってリストを作り、「京都の町・魚屋比較」をしてみる。そんな真合に、本来は義務であることを、趣味や楽しめに変換していくわけです。これを、赤瀬川原平の言葉を借りて、「脳内リゾート」と僕は呼んでいます。わざわざ東南アジアまで行かずとも、想像力を働かせれば、脳内リゾート生活が楽しめます。それを上等なものにするのが「教養」と僕は考えています。ただし、元気で居続けるために

は、病気を予防して健康を維持することが大切です。例えば、前立腺がんや乳がんの家族歴がある人は、同じ病気にかかるリスクが高いならば、早めにがん検診を受けた方がいい。歴史学と同様に、医学でも因果関係を知ることは重要です。自分がどのような病気にかかりやすいかを知り、早めに検診を受ければ、それだけ自分の命を救える可能性も高くなる。ぜひ、積極的に検診を受けていただきたいと思います。



渡辺栄一の扁額（へんがく）『青海長雲』をバックに。「この扁額は真贋（しんがん）が怪しい。これから調べてみようと思います。実は偽物の方が、偽印にもバリエーションがあって面白い。偽物だといいな」と磯田氏。手前は姫路藩の古文書。

古文書探しは、新種の生物探しのよう。歴史研究を「仕事」だと思つたことはありません。

私の活力チャージ法

「こうあるべき」と思わない
しゃくし定規に考えすぎると、ストレスがたまるので要注意。
自分の考えに固執しそうなことが大切。

「忘れる力」を磨く
ネガティブな記憶を引きずっていると、心の免疫力が弱ってくる。
気持ちのスイッチを切り替えることが大事。

義務を「楽しみ」に変換する
仕事も用事も、義務だと思えばつらくなる。
義務の中に楽しみを見出し、趣味へと変換していく。

磯田道史



Information
史上最多くの命を奪ってきた脅威がパンデミックだ。未知の感染症に立ち向かうためには、歴史を見つめ直す必要がある。一級の歴史家が、江戸時代の記録、百年前の政治家や文豪の日記などから、新たな視点で日本人の知恵に光をあてる。『感染症の日本史』(文春新書)
著者:磯田道史
発売:2020年9月18日
定価:880円(税込)

かつおの てこね寿司

【志摩地方(三重県)】



かつお

春(初)がつおは、高タンパク、低脂肪のヘルシー食材。ビタミンB群も豊富で、ねぎ類やにんにくと一緒に食べると、ビタミンBの吸収率が高くなる。

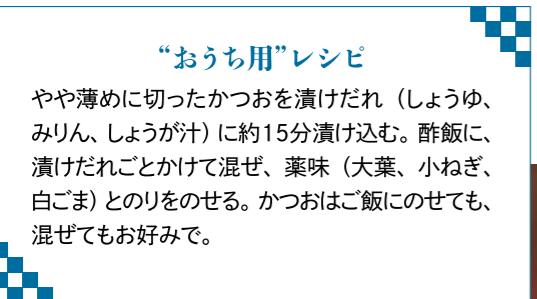
Healthy Kitchen

menu file.
08

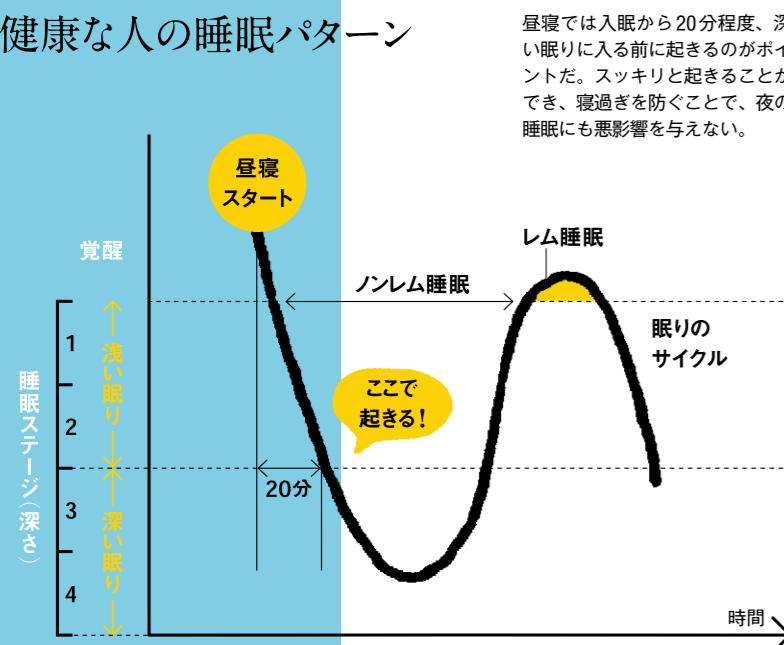
全国郷土料理めぐり

その地の食材を生かした「郷土料理」。
家庭でも作れるシンプルな一品を
受け継がれてきたストーリーとともに、
ご紹介します。ぜひお試しください。

古くから漁業のまちとして知られ、春はかつお漁でにぎわう志摩地方。沖へ出ている間は、食事も船上。「いちいちしようゆを付けながら食べる魚は面倒」とばかりに、獲れたての魚を切つてしまふやに漬け、それを汁ごとご飯にかけたのが、「手こね寿司」の始まりといわれます。「こねる」は「混ぜ合わせる」という意味で、船上ではかつおを混ぜ込むスタイルだったとか。やがて、家庭で祝い事や来客の折に作られるようになり、見た目も味付けもさまざまになってこね寿司が今に受け継がれています。まずは下のレシピで味わい、2回目はかつおの切り方や薬味、味付けを「わが家流」にアレンジしてみてはいかがでしょう。



健康な人の睡眠パターン



昼寝では入眠から20分程度、深い眠りに入る前に起きるのがポイントだ。スッキリと起きることができ、寝過ぎを防ぐことで、夜の睡眠にも悪影響を与えない。

- × 疲れているなら
昼寝を何分してもよい
 - 最長でも
30分と心得るべき

坪田さんが推奨する昼寝時間は20分程度。「覚醒後のパフォーマンスが最も高いのは、入眠から20分以内に起きた場合。それ以上眠ると目覚めた後も眠い状態が続き、集中力や注意力が落ちかねません」。長過ぎる昼寝は健康面にも深刻な影響を及ぼす。20分程度の短い昼寝が心筋梗塞や認知症の発症リスクを下げるのに対し、長時間の昼寝は発症リスクを高めるとの調査報告も。疲れても昼寝は30分以内にとどめるようにしよう。

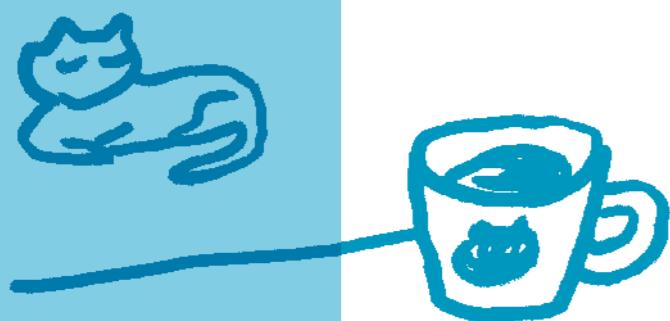
- × 無理に寝ようとする
のは時間の無駄!?
 - 目をつむるだけでも
脳には効果あり

- × 寝るときは
横になるべき!?
 - 昼寝は座ったまゝの
姿勢が基本

人間の五感のうち、視覚から入る情報は実に全体の8割を超す。そのため、目を閉じて視覚情報を遮断するだけでも脳はリフレッシュでき、結果的にその後の仕事の効率が上がる。たとえ眠れなかつたとしても、寝ようとする習慣を持つといい。昼寝の寝つきを良くするには「入眠儀式」を行うのも手。例えば昼食を食べた後にコーヒーを飲み、深呼吸をしてから目を閉じるなどのルーティンを毎日続けると、徐々に眠りやすくなるはずだ。

横になると心臓が目いっぱい拍動せずとも血液が全身を巡るため、リラックスでき、寝つきが良くなる。とはいえた寝て布団に入ったり、寝そべったりするのはNG。横になると眠りが深くなり、たとえアラームを使っても20分では起きるのがつらくなるためだ。お勧めは、椅子にもたれかかる、机に突っ伏すといった、浅い睡眠を保ちやすい姿勢。この状態でも脳や体を休めることは十分可能。しかも自覚めがいいいため、即仕事モードに戻れる。

カフェインの覚醒効果は平均4~5時間、長いと10時間余り続く。そのため、カフェインを多く含むコーヒーは「睡眠の敵」と見なされがちだが、昼寝に関しては強い味方となる。「カフェインの覚醒効果が表れるのは飲んでから20~30分後。昼寝前にコーヒーを飲めば、ちょうどその頃、目覚めやすくなります」。カフェインは緑茶や紅茶など茶樹の葉で作られるお茶にも含まれる。コーヒーが苦手なら、昼寝前にお茶を代わりに飲むのも手だ。



「……私も分かっています」。パワーナップの鉄則は、「夜の寝つきが悪くならないよう正午、午後3時までに取る」「30分以内に起きる」「横にならず座った姿勢を取る」「カフェイン飲料を飲んでから眠る」の4つ。最大のキモは、夜と違い「浅く眠ること」。熟睡状態に陥る前に起きれば、眠気を引きずることもなく、即仕事に取りかかれる」と坪田さんは強調する。

10分の昼寝は夜の1時間の睡眠に匹敵するともいわれる。パワーナップを習慣にし、さえた脳と病気を寄せつけない体を維持しよう。

病気を寄せつけない睡眠術!?

昼寝こそ、 脱・睡眠難民への近道

日中のパフォーマンスを下げるだけでなく、命に関わる病気のリスクも高めてしまうという睡眠不足。しっかり眠れていないと感じる人こそ取り入れたいのが、心身のリフレッシュに効果的な短時間の仮眠・パワーナップだ。

文／篠智優子 イラスト／浅妻健司

Adviser
雨晴クリニック 副院長
坪田 聰さん
Tsubota Satoru

誤解を正して「健康な睡眠」を目指す!

- × 60歳を過ぎたら
短時間睡眠でもいい
 - 睡眠不足はさまざまな
病気の元凶!

- 睡眠は
8時間がベスト！
 - 統計上、寿命が
長いのは6.5～7.5時間

健康な人の血圧は通常、日中に高くなり、睡眠中は低めで推移する。だが睡眠不足が続くと血管がフル稼働を強いられるため、高血圧状態に。その結果、動脈硬化や心筋梗塞、脳梗塞のリスクが高まる。加えて睡眠不足はがん、糖尿病、うつ病、認知症の発症率を上げることも明らかになっている。睡眠を促すホルモン、メラトニンの分泌が減るシニア世代は睡眠が短時間になりがちだが、健康維持の観点からやはり7時間程度眠るのが望ましい。

人は眠ることで脳を休息させる一方、免疫力を高めたり、壊れた細胞を修復したりして心身を健康に保つ。身体機能の修復こそ、睡眠の最大の目的。「理想の睡眠時間は8時間」とよくいわれるが、「健康維持に必要な睡眠時間には個人差があり、8時間がベストとは言い切れません」(坪田さん)。睡眠時間と寿命との関連を調べた調査では死亡リスクが最も低い睡眠時間は6.5～7.5時間で、それより短くても長くても寿命は短くなる傾向にある。

れだけの時間を確保できない場合、注目したいのが「パワーナップ」。と呼ばれる20分程度の昼寝だ。

「体内時計のリズムにより、午前2～4時のほか、午後2～4時にも強い眠気が現れます。その時間帯に軽く眠ると脳の疲れが取れ、身体機能もメンテナンスされる。30分以内の短い昼寝が認知能力や注意力を高めるほか、血圧を安定させ、心臓病死のリスクを下げる

「睡眠不足を訴訟してへど、『体に重大な悪影響を及ぼすわけではない』と甘く見てはいないうちだろうか。睡眠は人体に備わった生命維持システム。睡眠不足が続ければ健康は確実に損なわれます」と、眠りと病気との関係に詳しい医師・坪田聰さんはクギを刺す。

睡眠が足りないと、食欲をつかさどるホルモンの分泌異常が起きて太りやすくなるほか、高血圧や糖尿病のリスクも高まる。

「つまり睡眠不足が続くほど、生活習慣病を招きやすくなる。また、意外に思うかもしれません、認知症リスクが高まることも見逃せません。脳内細胞を破壊し、認知症を引き起こす老廃物・ β アミロイドは、十分な睡眠でしか排出されないからです」。

健康維持に必要な睡眠時間には個人差があるが、死亡リスクが最も高いからです」。



安全・安心と快適さを追求した 9つの健診センター

皆さんに安心して健診をご受診いただけるように、全センターで定期的な消毒・換気の徹底、スタッフの体調チェックなど万全の感染予防対策を行っています。



神奈川



横浜東口センター

受診空間	男女別フロア
特徴	MRI検査(脳ドック)
アクセス	「横浜」きた東口 徒歩3分
住所	横浜市神奈川区 金港町6-20



横浜西口センター

受診空間	男女同フロア
アクセス	「横浜」西口 徒歩6分
住所	横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル3F



レディース横浜

受診空間	女性専用
アクセス	「横浜」西口 徒歩4分
住所	横浜市西区北幸1-4-1 横浜天理ビル23F



ファーストプレイス横浜

受診空間	男女時間帯別入替制
特徴	CT検査(肺ドック)
アクセス	「横浜」東口 徒歩4分
住所	横浜市西区高島2-7-1 ファーストプレイス横浜6F



川崎センター

受診空間	男女別フロア
アクセス	「川崎」東口 徒歩1分
住所	川崎市川崎区日進町1-11 川崎ルフロン8F

2020年2月オープン

東京



2021年4月リニューアル

新宿西口センター

受診空間	男女同フロア
アクセス	「新宿」南口 徒歩7分
住所	新宿区西新宿3-2-4 新和ビルディング7F・8F



レディース新宿

受診空間	女性専用
アクセス	大江戸線「都庁前」徒歩1分 丸ノ内線「西新宿」徒歩3分
住所	新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル26F



池袋センター

受診空間	男女別フロア
特徴	MRI検査(脳ドック)
アクセス	「池袋」東口 徒歩5分
住所	豊島区東池袋1-25-8 タカセビル1F・2F



日本橋センター

受診空間	男女別フロア
特徴	CT検査(肺ドック)
アクセス	「日本橋」直結 「東京」日本橋口 徒歩5分
住所	中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル7F

デジタル化による感染予防対策・非接触化を推進中!

お客様の利便性向上と感染予防対策の観点から、
デジタル化を推進しています。

- 受診前には…
- 7日先~予約できる「Web予約」
 - 事前にゆっくり回答できる「Web問診」

受診後には…

 - 健診結果を確認できる「Webカルテ」
 - 健診結果をPDFで受け取れる



総合健診センターヘルチェック

Web予約



PCでもスマホでも、
ネットで簡単予約!(24時間受付)

ヘルチェック

検索



公式SNSアカウントでも
情報配信中です!



電話
予約



0570-012-489

(ナビダイヤル)

月~土 8:00~18:00
(祝日も受付)

HealthyLife No.142

- 発行日／2021年4月1日
- 発行／総合健診センターヘルチェック
- 編集協力／日経BPコンサルティング